

平成 29 年度福島県原子力防災訓練 実施結果

- 1 実施日 10月16日(月) 災害対策本部設置運営訓練等
10月28日(土) 住民避難訓練等

2 実施場所

- 災害対策本部設置運営訓練等
福島県危機管理センター、南相馬原子力災害対策センター、重点区域市町村 他
- 住民避難訓練等
浪江町 浪江町地域スポーツセンター(一時集合場所)
川俣町 川俣町体育館(スクリーニング場)
二本松市 小浜中学校(避難中継所)、県立安達高校(避難所)

3 訓練想定

- ・ 福島県浜通りを震源とした地震(福島県沖地震)の発生(最大震度6弱)
- ・ 福島第一原子力発電所1号機で原災法第10条及び第15条事象の発生
- ・ 緊急時モニタリングの結果、浪江町内で $20\mu\text{Sv/h}$ 超を計測
これらにより、浪江町全域に避難指示が発令される想定で訓練を実施した。

4 訓練実績

- 災害対策本部設置運営訓練
 - ・ 「初動対応の確立」「拠点間、拠点内の連携強化」「防護措置の実施方針」に関する理解の促進」を重点項目として防災業務関係者による活動を実施し、概ね予定通り訓練は実施された。
 - ・ 特に、今年度初めて実施した「防護措置の実施方針」に関する理解の促進については、訓練参加者のアンケートでは「理解できた」との回答が5割に届かず課題が残った。
- 住民避難訓練
 - ・ 浪江町民64名は、防災行政無線や、広報車、緊急速報メール等で避難指示を把握し、自力で地域スポーツセンターに集合。その後、避難用バスにてスクリーニング場、避難中継所、避難所までの実際の移動や各地点での住民が取るべき行動を確認した。
 - ・ 訓練後に実施した住民アンケートでは、「原子力災害時にとるべき行動の理解度が深まった」及び「今年度の訓練が役に立つ」とした回答は共に8割を超えた。

5 訓練評価及び公表

訓練参加者に対するアンケートでの自己評価、及び原子力防災に精通している第三者(エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社)による外部評価を実施し訓練の課題を抽出した。訓練実施結果等とともに3月中に訓練結果報告書をまとめる予定。

また、広く県民に訓練内容を周知するため、訓練記録映像を作成し、県HPにて公開する。